

排水管の勾配不良

年度	2004年完成(2010年調査)
場所	茨城県取手市
構造	ログハウス
階数	2階
延べ面積	144 m ²
用途	一戸建ての住宅

瑕疵の特徴

1. 横引きの排水管を逆勾配で施工している。
2. 塩化ビニル管とジャバラ管の接続部分から汚水漏れが起きている。



汚水漏れ

解説

これは、パイプシャフト(壁内)内の排水たて管の頂部が高過ぎたにも拘らず、高さ修正を行わず、排水管を無理に押し曲げ、逆勾配のまま、ジャバラ管を使い便器と接続したものである。排水管が逆勾配であったのに加え、更に、無理な接続を行なったため、排水管の接続部分から汚水漏れが起きている。

配管設備の設置及び構造については、施行令第129条の2の5第3項で規定、HASSでは排水管の勾配を1/100以上としている。更に、便器メーカーでは、床上排水便器の施工説明書に、排水管の勾配を「必ず1/50以上確保すること」としている。